

令和4年1月11日

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 福島 秀治
 (コード番号：8732 東証第一部)
 問合せ先 経営管理部長 宇留野 真澄
 (TEL. 03-4540-3804)

2021年12月次 月次概況（速報）のお知らせ

2021年12月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年月	2021年3月期											
	2020年									2021年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位：百万円)	407	303	318	282	309	310	273	355	495	413	452	591
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	82,072	92,851	106,893	75,910	85,460	82,287	60,129	75,348	71,190	66,894	71,453	97,402
外国為替取引口座数 (単位：口座)	340,605	340,735	340,825	340,830	340,840	340,768	341,218	341,138	341,086	341,521	341,690	342,122
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	62,460	62,004	61,807	62,331	62,751	65,155	62,104	61,812	61,175	60,590	59,575	59,081
一般顧客	60,227	59,654	59,267	60,022	60,364	63,044	60,121	59,849	59,365	58,733	57,731	57,346
金融法人（BtoB）	2,232	2,350	2,539	2,309	2,386	2,111	1,982	1,963	1,809	1,856	1,843	1,734
マネパカード口座数 (単位：口座)	162,828	163,034	163,058	163,086	163,138	163,159	163,034	162,996	162,802	162,492	162,309	161,921

年月	2022年3月期											
	2021年									2022年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位：百万円)	445	403	430	395	387	470	430	429	589			
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	72,253	82,478	73,411	92,739	76,532	78,411	90,593	95,217	66,099			
外国為替取引口座数 (単位：口座)	342,801	343,397	343,817	344,134	344,314	344,522	344,755	345,482	346,625			
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	58,635	56,276	56,581	56,671	56,468	56,284	55,503	54,426	53,911			
一般顧客	57,068	54,786	54,965	55,027	55,065	54,825	54,090	52,988	52,409			
金融法人（BtoB）	1,567	1,489	1,616	1,644	1,403	1,459	1,412	1,438	1,501			
マネパカード口座数 (単位：口座)	161,712	161,526	161,301	161,091	160,964	160,800	160,701	160,574	160,390			

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 2011年8月より差金決済取引（CFD-Metals取引）の取扱いを開始しており、CFD-Metals取引における預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとBtoB取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。
5. 2020年7月から2021年3月までの「営業収益」には連結子会社のコインネージ株式会社の数値が含まれております。なお、同社は2021年3月31日をもって暗号資産交換業を廃業し解散しております。

<12月次の概況>

12月の外国為替相場は、米ドル/円については、1ドル=113円前半まで取引が始まり、前日のパウエル議長のテーパリング加速示唆を受け同日一時113円半ばまで上昇したものの、コロナウイルス変異株（オミクロン株）への警戒感や米11月非農業部門雇用者数が市場予想を下回ったことにより3日には112円半ばの月中安値を付けました。その後は、オミクロン株を巡る懸念が後退し8日に114円台手前まで上昇する局面もありましたが、FOMC等の発表を控えていることもあり113円半ばを中心とした狭いレンジでの推移となりました。15日のFOMCでは利上げ時期の前倒し等が示されたことにより114円前半まで上昇したものの、続く16日には英イングランド銀行の利上げを受けた対ポンドでのドル売りが影響し113円半ばまで下落しました。その後、17日のウォラーFRB理事の早期利上げを支持する発言等によりドルが買い戻され、21日には米長期金利の上昇に伴い114円台を回復しました。24日からはクリスマス休暇で市場参加者が少ない中でも相場は底堅い動きとなり心理的節目となる115円の上値が意識され、29日に市場参加者が戻ってくると円売り優勢の展開となり115円台を回復し30日に月中高値となる115円前半を付け、115円前半で月末を迎えました。

米ドル/円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、米ドル/円と同様に概ね円安傾向での推移となりました。一方、新興国通貨においては、トルコリラが前月からの下落が止まらず、16日のトルコ中央銀行の追加利下げを受け、トルコリラ/円は20日には6円前半まで下値を切り下げて史上最安値を更新しました。しかし、直後にエルドアン大統領がリラ建て預金に対し通貨安による目減り分を補償する異例の措置を発表すると8円台後半まで急反発、23日には11円前半まで買戻しが進むなど値動きの大きい展開となりました。これらトルコリラの変動が想定以上の収益上振れ要因の一つとなりました。

外国為替相場の変動率は、米ドル/円においては、1日の平均値幅が0.522円（前月は0.798円）に留まり低調な水準となり、欧州・オセアニア通貨においても、前月の水準を下回りました。その一方でトルコリラは極めて高い水準となりました。

このような状況の中、パートナーズFXnanoでは1回当りの取引数量3万ドルまでスプレッドを原則24時間「米ドル/円0.0銭（売買同値）」としたほか、「豪ドル/円」、「ユーロ/円」、「ポンド/円」のスプレッドを原則24時間最狭水準とするキャンペーンを行っております。また、「約定力100%」のパートナーズFXでも18時00分～24時00分の時間帯に限りスプレッドを「米ドル/円0.2銭」、「豪ドル/円0.3銭」、「ユーロ/円0.3銭」、「ポンド/円0.5銭」に縮小するキャンペーンを行っております。これに加えて、パートナーズFXでは「トルコリラ/円」では不安定な状況下でもお取引いただいているお客様にお詫びと感謝を込めて「1万通貨あたり10円の上限なしキャッシュバックキャンペーン」を実施しております。また、12月6日より暗号資産関連店頭デリバティブ取引（暗号資産CFD）のサービスを開始しております。

外国為替取引高は、米ドル/円の低調な変動率にクリスマス休暇等による市場参加者減少の影響も加わり、前月比31%減少の660億通貨単位となりました。営業収益は、取引高が大幅減少となったものの、トルコリラのボラティリティの拡大の影響や年末越えのスワップ収益の増加等によりトレーディング損益が大幅に増加したことに加え、システム関連売上高が増加したことから前月比37%増加の589百万円となりました。また、外国為替取引預り証拠金は一般顧客分が減少、金融法人分が増加となり、全体では前月比515百万円減少の53,911百万円となりました。

以上